

フードドライブについて

◆フードボックスに届けられた食品

- ・お米
- ・乾麺類
- ・お茶
- ・ペットボトル飲料
- ・缶飲料
- ・お菓子 …など

ご協力いただき
ありがとうございました。

*これらの食品は、困っておられるご家庭等の必要とされる方へお届けします。

★多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷の玄関入口に フードボックスを設置しています★



【フードボックスに入れていただきたい食品】

※未開封で賞味期限が1か月以上残っているものでお願いします。

- 缶詰類、レトルト食品、インスタント食品、瓶詰類、乾物類、ふりかけ、乾麺など。

- お米も大歓迎です。

皆さまのあたたかいご協力をお待ちしています。

この活動はフードバンクびわ湖さんと協働しておこなっています。

困ったときは「とりあえず・なんでも」ご相談ください。

社会福祉協議会では、相談窓口を開設しています。



心配ごと相談所

みなさんの暮らしの中の心配ごと、悩みごとなど何でもご相談ください。

※予約はいりません。秘密は厳守されますのでお気軽にお越しください。

時 間 午前9時～午前11時まで

場 所 多賀町総合福祉保健センター
ふれあいの郷 ボランティア室

相談日 令和8年1月16日(金)
令和8年2月16日(月)

弁護士による

無料法律相談

日常生活における悩みの中で、法律的な知識が必要な問題に対して、弁護士が相談をお受けします。秘密は厳守されますので、安心してご利用ください。

時 間 午後1時30分～

場 所 多賀町総合福祉保健センター
ふれあいの郷 ボランティア室

相談日 令和8年1月27日(火)
令和8年2月24日(火)

※相談を希望される方は、事前に電話でご予約ください。1日3組限定です。(先着順)



生活困窮者自立支援制度

- 収入が不安定で家賃や税金の支払いが難しくなってきた。滞納している。
- お金のやりくりがうまくいかず、家計が困っている。
- 長く働いた経験がなく、仕事に出ることに不安を感じている。

*もう一人で悩まないで!

あなたのお悩みをご相談ください*
(相談無料・秘密厳守)



地域福祉権利擁護事業

- お金の管理に困っている
- 通帳やハンコ、財布を置き忘れる
- 福祉サービスなど生活費がうまく使えない
- 福祉サービスなど申請手続きや契約の方法が難しい
- いつも探し物をしている
- 不安を口にしている

生活費の相談や通帳やハンコ、証書などの預かり



ご近所の高齢の方や、
離れて暮らしておられる
親御さんなどにこのような
ことはありませんか?

【お問い合わせ・相談先】

社会福祉法人多賀町社会福祉協議会 多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷内

電話：0749-48-8127 / 有線：2-2039

8時30分～17時15分(土日祝日・年末年始を除く)

～あなたが主役“おたがいさま”の地域づくり～

ふくしたが

2026年

1月号

新春のごあいさつ

多賀町のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、多賀町社会福祉協議会の様々な事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ると、トランプ大統領の関税引き上げによる世界各国への経済波及、長期化するウクライナとロシアとの戦い、イスラエルのガサ地区への攻撃、米価の高騰、全国的なクマによる被害など暗いニュースがありました。しかしながら、日本人2人によるノーベル賞受賞、大谷選手の2年連続のワールドシリーズ優勝とMVP獲得、そして国スポ・障スポが滋賀県で開催されるなど、明るいニュースもございました。

さて、本会では令和2年度に策定した「第2期多賀町地域福祉活動計画」をもとに、地域が主体となって地域福祉の充実にに向けて取り組んでいますが、今年3月で計画期間が完了するため、現在第3期の計画策定に向けて取り組んでいるところです。今の社会情勢やニーズに対応した実効性のある計画を策定し誰もが幸せに、そして互いを支え合える地域になるよう、みなさまとともに歩んで行きたいと考えております。

本年も、社協の役職員一同引き続き、地域のみなさまや関係団体、町との連携を図りながら、地域福祉の向上に更なる努力を続けて参りますので、みなさまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本年がみなさま方にとりまして、幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



会長 多賀 昌宏

【編集・発行】社会福祉法人多賀町社会福祉協議会

犬上郡多賀町多賀 221 番地 1 多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷内

電話：0749-48-8127 / 有線：2-2039 / FAX：0749-48-8140

ホームページ：https://www.taga-shakyo.or.jp

Email：tagashakyo@ex.biwa.ne.jp

▼ホームページ



車いすバスケットボール体験学習を実施

多賀小学校と多賀中学校（令和7年10月14日実施）、大滝小学校（令和7年11月10日実施）の3校において、「車いすバスケットボール体験学習」を行いました。

この取り組みは、車いすバスケットボールのプレーを通して、障がいのある方への理解を深めていただくことを目的としています。

当日は、バスケットボールチーム「LAKE SHIGA」に所属されている小島慎弥選手、東武志選手、八橋龍二選手を講師にお迎えし、身体障がいに関するお話や、車いすバスケットボールの魅力について講話をしていただきました。

その後、児童・生徒たちも実際に車いすに乗ってボールを扱い、試合形式のゲームを体験しました。初めは操作に戸惑う様子も見られましたが、次第に笑顔で声を掛け合いながらプレーを楽しむ姿が多く見られました。

体験後の子どもたちからは、「車いすの操作が難しかったけど楽しかった」「（講師の皆さんが）車いすに乗りながらシュートしたり、速く漕いでいたりしてすごいと思った。」「障がいがあっても、スポーツができることを知れた。」などの感想が寄せられました。

この体験を通して、障がいの有無にかかわらず誰もが活躍できる社会について考える貴重な機会となりました。

ご協力いただいた講師の皆さま、関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

この事業は、赤い羽根共同募金の助成と多賀町身体障害者更生会の支援を受けておこなわれました。



左から、小島慎弥選手、八橋龍二選手、東武志選手



わた SHIGA 輝く障スポ 2025 車いすバスケットボール競技 滋賀県代表で出場された小島慎弥選手よりメッセージ



わた SHIGA 輝く障スポ 2025(車いすバスケットボール競技)にご声援いただいた皆様
10月25～27日に開催された「わた SHIGA 輝く障スポ 2025」車いすバスケットボール競技会場に多賀町より多くの皆様にご観戦に足を運んでいただき心より感謝申し上げます。
皆様の大きなご声援がチームに勇気と感動を与えてくださいました。1回戦敗退と残念な結果となってしまいましたが、会場に来てくださった皆様が作っていただいた熱気と雰囲気の中、試合ができたことに無上の喜びを実感しました。今後も競技を継続し、小中学校を中心に車いすバスケットボールの魅力やすばらしさを伝えながら、パラスポーツの成長と持続可能な共生社会へのサポートができればと考えております。
引き続きご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

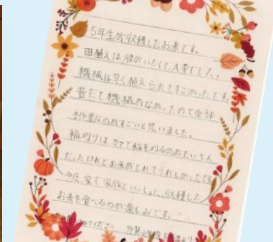
寄付のご報告



多賀町更生保護女性会の皆さまから
お米(10kg)のご寄付をいただきました。



多賀小学校第5学年の児童の皆さんが
収穫したお米をご寄付していただきました。



匿名の住民さまよりお米の
ご寄付を複数いただきました。

このたびは、本会へあたたかいお気持ちとともに物品をご寄付いただき、心より感謝申し上げます。
皆さまからお寄せいただいた物品は、地域の生活支援を必要とする方々への食支援や福祉活動で使わせていただきます。
皆さまのご支援が、安心して暮らせる地域づくりにつながっています。今後とも、社協の地域福祉活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和7年12月20日開催！

ふれあい食堂「クリスマス会」

ふれあい食堂は・・・

多賀町にお住まいで障害者手帳をお持ちの方と、そのご家族を対象に本イベントを開催しています。今回も、参加される皆さまが安心して過ごせる『ほっと一息つける場所』となるように企画しました。日ごろの悩みや想いを気軽に話し合える交流の場として、また、地域のボランティアの皆さんともつながっていただく機会になればと思います。

当日の様子

ピュアプラスさんによるクリスマス演奏会



▲ピュアプラスさんは、湖北地方で活動している吹奏楽団です。地域に根ざした活動を展開し、さまざまなイベントや施設で演奏されています。素敵な演奏で、楽しいひとときを過ごすことができました。



▲大滝山林組合さんにツリーをご提供いただきました。おかげさまで心温まるクリスマスを楽しむことができました。ありがとうございました。

カレーライスとケーキをみんなで食べよう



ビンゴ大会・遊びのコーナー



今回の「ふれあい食堂」は、下記の方々にもご協力いただき、無事に開催することができました。心より感謝申し上げます。

- ・吹奏楽団「ピュアプラス」の皆さま
- ・ボランティアグループ「ひまわりの会」の皆さま
- ・NPO法人「芹川の河童」よりご参加いただいた学生の皆さま
- ・民生委員の皆さま



今後も、参加された方が交流を深め、笑顔で過ごしていただけるような企画を考えていきます。ぜひ、ご参加ください♪



災害ボランティア講座



日赤奉仕団滋賀県支部から講師をお迎えし、3日間にわたり開催いたしました！

1日目 令和7年10月9日(木)

「避難所運営ゲーム」を通して災害ボランティアについて知ろう

1日目はグループに分かれて、避難所運営ゲーム（HUG）の日本赤十字社滋賀県支部オリジナル版を体験していただきました。参加者の皆さんには、災害発生時に避難所で起こりうるさまざまな課題に対し話し合いながら解決策を考え、限られた時間と資源の中で運営していく難しさを体感していただきました。

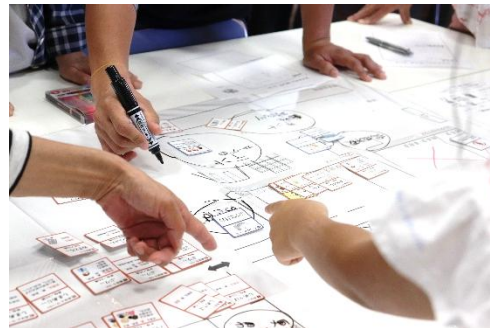
実際の避難所運営では、地域住民同士の協力が欠かせません。今回のワークを通じて、チームで役割を分担しながら状況に応じて判断する大切さや、日頃からの備えの必要性について理解を深めていただきました。

★避難所運営ゲーム(HUG)とは・・・

避難所運営ゲーム HUG は、災害時の避難所をどのように運営するかを体験するシミュレーションゲームです。

参加者は、避難者の情報が書かれたカードを読み、避難所のどこに受け入れるかをグループで話し合いながら配置していきます。

途中でさまざまなトラブルや要望カードが追加され、その対応を考えながら進めることで、避難所運営の難しさや工夫を学ぶことができます。



はじめまして同士でも、声をかけ合いながら協力してゲームを進めておられ、グループごとに活発な意見交換が見られました。



2日目 令和7年10月23日(木)

「災害ボランティア」にはどのような活動がある？



2日目は、地域の皆さんに災害時の支援について理解を深めていただくため、「災害ボランティアにはどのような活動があるのか」をテーマにした講座を開催しました。

講座では、能登半島地震で実際に行われた災害ボランティアの活動報告もふまえて説明していただきました。被災地でのがれき撤去や家屋の清掃だけでなく、避難所での支援物資の仕分けや被災者の心のケアなど、多様なボランティア活動について紹介していただきました。

その後、グループワークで「被災地で自分ができるボランティア活動はどのような活動あるか」について話し合っていました。

被災地で自分ができるボランティア活動はどのような活動があるのだろうか…？

あればいいなと思う災害ボランティアとはどのような活動があるかな…？



★グループワーク

災害ボランティア活動中に予想される事故(病気・ケガ)は何かあるだろう？対策も考えてみよう！

災害ボランティア活動に参加する際の事前準備を考えてみよう！

★災害時に役立つ三角巾を使った包帯法を実践



★防災バッグの内容紹介



非常時に備えて必要な物をまとめておくことで、避難をスムーズに行うことができます。地域みんなで備えを進め、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきましょう。

3日目 令和7年11月12日(水)

多賀町災害ボランティアセンター設置運営訓練

3日目は、ふれあいの郷の多目的運動室にて災害ボランティアセンターの設置運営訓練をおこないました。ボランティア受付やニーズ受付、マッチング作業など基本的な流れを確認し、災害時に円滑にセンターを立ち上げられるよう、参加者それぞれが役割を体験しました。短時間ではありますが、実際の動きをイメージできるような訓練となりました。



災害ボランティアセンターの主な役割とは？

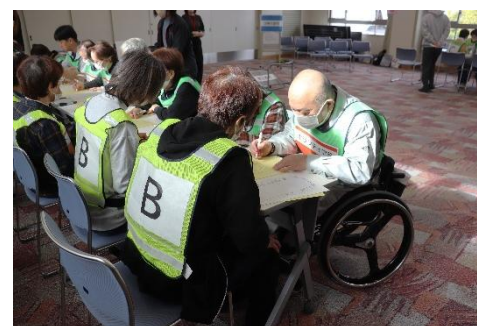
●ボランティアを受付・登録

●ニーズ受付・情報収集

●ボランティアをマッチング

災害直後の被災者は、心身ともに強いストレスを抱えていることが多く、自分の困りごとをうまく言葉にできない場合があります。ニーズを聞き取る側は、相手の気持ちに寄り添いながら、必要な情報を引き出していきます。

寄せられる依頼内容と、集まったボランティアの人数・スキル・経験が必ず一致するとは限りません。災害時で日々変わりゆく環境の中で、無理のない活動につなぐことがマッチングの難しさであり重要なポイントです。



炊き出し訓練



停電や断水などで、災害時には普段どおりに炊飯器が使えないことがあります。そんな時に、少ない水と鍋とガス、耐熱ポリエチレン製袋を使ってご飯を炊く方法を教えていただきました。今回は、ハイゼックス袋を使用しました。

耐熱袋にお米と水を入れて空気を抜いてしっかり結びます。袋が沈む深さの鍋で湯せんし、蒸らせば出来上がり。

講座に参加された皆さんには、カレーライスとして召し上がっていただきました。あたたかく、しっかり炊き上がったお米は、好評でした。

袋のまま食べられるため衛生的で、避難時にもとても便利です。また、災害時にはあたたかい食事が大きな支えになります。



◇炊き出し訓練の準備にご協力いただいた多賀町日赤奉仕団の皆さん、A.SITEの皆さんありがとうございました◇

今後も、地域の皆さまに災害への理解を深めていただくため、災害ボランティア講座を継続して開催する予定をしています。

講座では、災害時の基礎知識やボランティアセンター開設から活動の流れ、実践的な対応方法などをわかりやすくお伝えし、初めての方でも安心して参加できるようなイベントを考えていきます。地域を守る力を高めるためには、一人ひとりの備えとつながりが大切です。ぜひ、講座へご参加いただき、災害に強いまちづくりを一緒に進めていきましょう。

この事業は、赤い羽根共同募金の助成を受けておこなわれています。

